

## 学習の指針（シラバス）

教科名	社会	実施学年	3年	週時間	4時間
-----	----	------	----	-----	-----

### 1. 学習の目標

学習の目標	<p>〔歴史的分野〕</p> <p>○我が国の歴史の大きな流れや、各時代の特色を理解することができる。</p> <p>○その時代を大観して表現する活動や各時代の変革の特色から時代の転換をとらえ、歴史的な事象について考察、判断しその成果を自分の言葉で表現することができる。</p> <p>〔公民的分野〕</p> <p>○身近な出来事に着目して、社会の諸問題に対する関心を高める。</p> <p>○現代の社会生活について、個人と社会との関わりを中心に考える。</p> <p>○様々な資料を活用して、正しい判断力と適切な表現力を養う。</p> <p>○民主政治の意義としくみ、国民の生活向上と経済活動、国際的な相互依存関係について理解する。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書；東京書籍「新しい社会 歴史」「新しい社会 公民」</p> <p>地図帳；帝国書院「中学生社会科地図」</p> <p>副教材；ワークブック 明治図書「社会の学習（歴史）」、新学舎「社会の自主学習 公民」</p> <p>資料集「最新 公民資料集」</p>

### 2. 学習計画及び評価方法等（6月1日現在）

	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価	
1 学期	6	<p>【歴史分野】</p> <p>(6)二度の世界大戦と日本</p> <p>①第1次世界大戦</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界恐慌から第二次世界大戦終結までの経済の混乱と軍国主義、および国民生活の状況について理解する。</li> <li>・第二次世界大戦後、国際社会に復帰するまでの日本の民主化と再建の過程や国際社会への参加について理解する。</li> <li>・現代の日本社会の特色と現状についての理解を深め、現代社会をとらえる見方や考え方を身につける。</li> </ul>		<p>※休校中課題 プリント点検 学習ノート点検 ワーク点検</p>	
	7	<p>②世界恐慌と日本の中国侵略</p> <p>③第二次世界大戦と日本(7)現代の日本と世界</p>				○定期テスト ノート点検 ワーク点検
	8	<p>①戦後日本の発展と国際社会</p> <p>②新たな時代の日本と世界</p>				
2 学期	8	<p>【公民分野】</p> <p>(1)わたしたちの生活と現代社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な人権についての理解を深め、日本国憲法の基本的原則を具体的な生活との関わりからとらえるとともに、民主的な生活のためには、法に基づく政治が大切であることを理解する。</li> <li>・日本の民主政治のしくみについて、国の政治と地方の政治のそれぞれの特徴を理解し、国民の政治参加の意義について考える。</li> <li>・経済活動の意義と市場経済の基本的な考え方、生産や金融の仕組みを理解し、企業の役割と責任について考える。</li> <li>・国民生活と福祉の向上のために、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割を考え、国民の納税の義務について理解する。</li> </ul>		○定期テスト ノート点検 ワーク点検	
	9	<p>(2)人間の尊重と日本国憲法</p> <p>①人権と日本国憲法</p>				
	10	<p>②人権と共生社会</p> <p>③これからの人権保障</p> <p>(3)現代の民主政治と社会</p>				
	11	<p>①現代の民主政治</p> <p>②国の政治のしくみ</p>				
	12	<p>③地方の政治と自治</p> <p>(4)わたしたちの暮らしと経済</p> <p>①暮らしと経済</p> <p>②生産と労働</p> <p>③価格の働きと金融</p> <p>④国民生活と福祉</p>				

3 学 期	1	【公民分野】 (5)地球社会とわたしたち ①国際問題と世界平和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際協調の観点から、日本の国際的な役割について考え、世界平和を確立するための熱意と協力の態度を身につける。</li> <li>・持続可能な社会を形成するという観点から、自分の考えをまとめる。</li> <li>・歴史や地理も含めて、総合的な問題を解きながら、基本的な知識・理解を深める。</li> </ul>	期末テスト 総合問題 ノート点検
	2	②国際問題とわたしたち		
	3	(6)よりよい社会をめざして 【総合問題】10時間		

### 3. 評価について

#### (1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
社会事象に対する関心・意欲・態度	A Bの基準を超えたもののうち、特に秀でた内容や態度であるもの。 B 予め定められた課題が概ね期日に出され、内容が基準を満たしている。	☆ 授業中における教師の発問への反応など、教師による観察 ・ ワークブックの提出状況 ノートの取り方
社会事象に対する思考・判断・表現	A 試験において、この観点を問う問題の正解率が80%以上。 レポートなどの評価が概ねA B 試験において、この観点を問う問題の正解率が40%以上。レポートなどの評価が概ねB	・ 中間テスト・期末テストの思考・判断を問う問題の正解率(特に、論述問題の内容を中心として) ・ 学習問題に対するまとめの文章やレポート
資料活用能力	A 試験において、この観点を問う問題の正解率が80%以上。 レポートなどの評価が概ねA B 試験において、この観点を問う問題の正解率が40%以上。レポートなどの評価が概ねB	・ 中間テスト・期末テストの資料活用能力を問う問題の正解率 ・ 地理および歴史の授業で使用するノート ・ 調べ学習などを行った場合のレポートの内容
社会事象に対する知識・理解	A 試験において、この観点を問う問題の正解率が80%以上。 B 試験において、この観点を問う問題の正解率が40%以上。	・ 中間テスト・期末テストの知識を問う問題の正解率 ☆ 単元テスト・実力テストの正解率

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

#### (2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=2点 B=1点 C=0点として4つの観点別評価を合計し、下記の表に照らして算出します。

評定	観点別評価の合計
5	12点
4	10~11点
3	7~9点
2	5~6点
1	4点